

平成24年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月19日

上場会社名 株式会社クロニクル 上場取引所 大  
 コード番号 9822 URL http://www.chronicle-net.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀 達夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営企画本部長 (氏名) 久保田 峰夫 TEL 03-5771-1200  
 定時株主総会開催予定日 平成24年12月21日 配当支払開始予定日 -  
 有価証券報告書提出予定日 平成24年12月25日  
 決算補足説明資料作成の有無： 無  
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期の連結業績（平成23年10月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期	2,108	△24.1	△677	—	△697	—	△2,256	—
23年9月期	2,780	△20.8	△756	—	△1,128	—	△1,421	—

(注) 包括利益 24年9月期 △2,255百万円 (—%) 23年9月期 △1,424百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
24年9月期	△41.95	—	△86.3	△23.9	△32.1
23年9月期	△29.44	—	△32.9	△24.4	△27.2

(参考) 持分法投資損益 24年9月期 -百万円 23年9月期 1百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期	1,872	1,559	86.4	27.78
23年9月期	3,960	3,669	92.7	74.93

(参考) 自己資本 24年9月期 1,554百万円 23年9月期 3,669百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年9月期	△258	44	155	106
23年9月期	△338	△35	△1	165

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
23年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
24年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 平成25年9月期の連結業績予想（平成24年10月1日～平成25年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,100	1.9	△80	—	△90	—	△90	—	△1.67
通期	2,300	9.1	6	—	3	—	3	—	0.06

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年9月期	55,969,237株	23年9月期	48,969,237株
② 期末自己株式数	24年9月期	1,709株	23年9月期	1,709株
③ 期中平均株式数	24年9月期	53,800,861株	23年9月期	48,267,556株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成24年3月期の個別業績（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	9	△74.8	△255	—	△284	—	△2,963	—
23年3月期	39	△60.3	△273	—	△886	—	△1,732	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期	△55.09	—
23年3月期	△35.88	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期	3,703	1,393	37.5	24.82
23年3月期	6,512	4,201	64.7	85.99

(参考) 自己資本 24年3月期 1,388百万円 23年3月期 4,210百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績につきましては今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
2. 経営方針 .....	5
3. 連結財務諸表 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	10
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 継続企業の前提に関する注記 .....	15
(6) 追加情報 .....	15
(7) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	16
(セグメント情報等) .....	16
(1株当たり情報) .....	22
(重要な後発事象) .....	22

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

### (1) 経営成績に関する分析

#### (当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国経済は、欧州金融不安を背景とした円高の進行、不安定な雇用情勢や株価変動等により依然として不透明な状況のまま推移しております。

このような状況の下、現在における当社グループの事業は、株式会社クロニクルによる投資事業、株式会社アメイジングバリューによるリセール・オークション事業及び株式会社ドゥーズによる正規品販売事業の2業態による宝飾品事業、株式会社エーディーアンドディー及び株式会社ビジネスアルファ24並びに株式会社エフ・データクリエイションによるWEB情報事業、さらに、株式会社アメイジングバリューによるリサイクル事業及び同社と株式会社クリエイト24による流通サービス関連事業の5事業により展開しております。

当連結会計年度における当社及び当社グループ全体の売上高は2,108百万円（前連結会計年度は2,780百万円で前連結会計年度比24.1%減）に止まり、経済環境の低迷等による影響を受ける厳しい状況が続いております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [宝飾品事業]

利益率向上を目的とし、高級輸入時計を中心とするリセール・オークション事業や国内における小売営業展開を積極的に行い、シェア拡大・向上に務めておりますが、売上高は818百万円（前連結会計年度は686百万円で前連結会計年度比19.2%増）に止まり、現在の経済環境等による影響の下、厳しい事業展開を余儀なくされた結果となっております。

#### [投資事業]

昨今の経済事情を鑑み、慎重に資金運用した結果、売上高は0百万円（前連結会計年度は14百万円で前連結会計年度比97.3%減）に止まりました。

#### [WEB情報事業]

結婚情報サイト「ピュア・アイ」の運営、WEB広告等を積極的に展開しておりますが、売上高は1,137百万円（前連結会計年度は1,665百万円で前連結会計年度比31.7%減）に止まりました。

#### [流通サービス関連事業]

対象業種として当面は軽飲食サービスに限定するものの、当該軽飲食サービスへの収益性の高いコンサルティング業務、業務受託形態の事業展開を積極的に展開しておりますが、当連結会計年度の売上高は150百万円（前連結会計年度は376百万円で前連結会計年度比60.0%減）となりました。

#### [リサイクル事業]

当社の中心事業である宝飾品販売のノウハウを生かし、金やプラチナを中心とした貴金属等の買取リサイクルブランド「黄金市場」を立ち上げ、「売る」から「買う」ビジネスモデルとして事業展開を行っております。当社グループの高額商品を取扱う中で培ってきた接客スキルとノウハウを他業種で活用する新たなビジネス展開を立ち上げておりますが、当連結会計年度の売上高は2百万円（前連結会計年度は37百万円で前連結会計年度比93.8%減）に止まっております。

以上の結果、売上高におきましては2,108百万円（前連結会計年度は2,780百万円で前連結会計年度比24.1%減）、営業損失におきましては、商品評価損109百万円及び広告宣伝費210百万円並びにのれんの償却費156百万円等の計上により△677百万円（前連結会計年度は営業損失△756百万円）となりました。

経常損失におきましては、為替差益9百万円等による営業外収益16百万円の計上があったものの、貸倒引当金繰入額28百万円等による営業外費用36百万円の計上により△697百万円（前連結会計年度は経常損失△1,128百万円）となりました。

当期純損失におきましては、減損損失1,491百万円等による特別損失1,551百万円の計上により△2,256百万円（前連結会計年度は当期純損失△1,421百万円）となりました。

(次期の見通し)

今後のわが国経済は、東日本大震災の影響も完全には消えない状態が続き、環境問題、また世界的な金融不安、依然として続く円高、個人消費の低迷も相俟って、企業業績悪化への懸念が大きく広がるなど、先行き不安材料も払拭出来ない状況が引き続く事が予想されます。

通期における当社グループが最大に対処すべき点は、宝飾品事業における回復及び新規展開事業の拡大にあると考えております。宝飾品事業につきましては、震災後に落ち込んだ売上も回復傾向ではあるものの次期におきましても完全回復の時期は未確定であることが予想されてますが、抜本的な宝飾品事業のビジネススタイルの見直しを行い、収益の効率化を図ること、また震災の影響により立ち後れておりました「黄金市場」を中心とするリサイクル事業事業拡大及びサービス関連事業の増加により売上高及び収益に関してはある程度の回復が見込まれます

このような状況の中、次期の見通しといたしましては、売上高2,300百万円(前連結会計年度実績は2,108百万円で前連結会計年度増減比9.1%)、営業利益6百万円(前連結会計年度実績は△677百万円の損失)、経常利益3百万円(前連結会計年度実績は△697百万円の損失)、当期純利益につきましては、当期純利益3百万円(前連結会計年度実績は△2,256百万円の損失)を予想いたしております。

次期の売上高につきましては、WEB情報事業と関連会社の拡大による売上を中心に堅調に推移するものと予測いたしております。

宝飾品事業につきましては、前連結会計年度と同様に国内の卸売、小売のビジネス形態の抜本の見直しを行い、着実に業績の回復に取り組むと同時に海外取引先との取引再開の調整を進めております。

投資事業につきましては、現在の株式市況の低迷により大幅収益の増加は見込むことは難しいものと予想しております。

WEB情報事業におきましては、従来の結婚情報サイト「ピュアアイ」を中心にWEB上の新しいビジネスモデルのスマートフォンアプリによるSNS展開を進めてまいります。

また、当期におきまして通販誌「ルパニエ」を中心とした通販事業の営業権を譲り受け、新たな収益及び今後のグループシナジー効果を上げる軸となる事業を展開してまいります。

リサイクル事業におきましては、リサイクルブランド「黄金市場」の直営店及びF C店及び加盟店の拡大に注力し事業規模の拡大を進めてまいります。

サービス関連事業におきましては、軽飲食サービスへの収益性の高いコンサルティング業務、業務受託形態の事業拡大を積極的に展開してまいります。

## (2) 財政状態に関する分析

### ① 資産、負債及び純資産の状況

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて2,088百万円減少し、1,872百万円となりました。

資産減少の主な内容は、現金及び預金の減少額58百万円、たな卸資産の減少額167百万円、有形固定資産(建物及び土地)の売却に伴う減少額103百万円及びのれんの償却156百万円並びに減損損失計上額1,491百万円等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて22百万円増加し、313百万円となりました。

負債増加の主な原因は、未払金の増加額8百万円及び未払法人税等の増加額13百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて2,110百万円減少し、1,559百万円となりました。

純資産減少の主な原因は、当期純損失△2,256百万円の計上によるものであります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ58百万円減少し、106百万円となりました(前連結会計年度末は165百万円で前連結会計年度比35.3%減)。

当期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は258百万円となりました。

これは主に、税金等調整前当期純損失△2,246百万円の計上の他、たな卸資産の減少額167百万円及び売上債権の減少額86百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、増加した資金は44百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の売却による収入73百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は155百万円となりました。

これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入140百万円及び借入による収入183百万円によるものであります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、平成22年9月期及び前連結会計年度である平成23年9月期並びに当連結会計年度と連続して営業損失を計上しており、さらに、前連結会計年度である平成23年9月期及び当連結会計年度において営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなっております。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、資金調達計画に基づく営業資金の確保や新規事業開拓等の活動資金確保の他、WEB情報事業の拡大及びM&Aや事業譲受等の事業拡大・強化計画により売上高と利益率の向上を図っております。

具体的な施策としましては、平成23年12月22日開催の第32期定時株主総会において承認決議されました新株予約権の発行に基づき、当該新株予約権者の権利行使に伴う新株発行増資による多額の資金調達の実行、また、新たな販売手法や顧客層の獲得による宝飾品事業の回復安定化、WEB情報事業の新規情報配信コンテンツの立ち上げやWEB広告の拡大による新たな顧客層の獲得と販路の拡大、さらに、今後想定しております収益性を重視したM&A等による事業拡大及びWEB情報事業や流通サービス関連事業における新規事業の開拓により、売上高及び利益の拡大を見込んでおります。

## 2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針、(2) 目標とする経営指標、(3) 中長期的な会社の経営戦略、(4) 会社の対処すべき課題

平成22年9月期決算短信（平成22年11月15日開示）により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略します。

当該決算短信は、次のURLから御覧いただくことができます。

(当社ホームページ)

<http://www.chronicle-net.com>

3. 連結財務諸表  
 (1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当連結会計年度 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	165,096	106,838
売掛金	212,145	126,115
営業投資有価証券	2,862	—
営業出資金	911,616	912,967
商品	613,809	446,801
繰延税金資産	9,758	8,635
その他	74,496	46,907
貸倒引当金	△43,715	△24,904
流動資産合計	1,946,069	1,623,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	57,103	24,977
減価償却累計額	△14,545	△10,612
減損損失累計額	△9,712	△9,712
建物及び構築物(純額)	32,844	4,652
工具、器具及び備品	79,857	95,106
減価償却累計額	△64,699	△70,682
減損損失累計額	△11,749	△13,691
工具、器具及び備品(純額)	3,409	10,733
車両運搬具	4,830	4,830
減価償却累計額	△2,570	△2,570
減損損失累計額	△2,259	△2,259
車両運搬具(純額)	0	0
土地	75,445	—
有形固定資産合計	111,700	15,385
無形固定資産		
のれん	1,644,435	34,982
その他	35,852	11,257
無形固定資産合計	1,680,288	46,239
投資その他の資産		
投資有価証券	37,719	11,315
破産更生債権等	1,430,567	1,337,356
長期貸付金	29,562	24,457
長期未収入金	89,968	102,801
その他	114,631	116,871
貸倒引当金	△1,480,216	△1,405,546
投資その他の資産合計	222,231	187,255
固定資産合計	2,014,220	248,880



(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当連結会計年度 (平成24年9月30日)
資産合計	3,960,289	1,872,241
負債の部		
流動負債		
買掛金	100,739	104,458
未払金	84,027	92,105
短期借入金	9,184	21,672
未払法人税等	5,078	18,323
賞与引当金	3,312	1,955
その他	64,239	54,544
流動負債合計	266,582	293,058
固定負債		
長期借入金	13,856	10,784
退職給付引当金	7,879	6,280
その他	2,666	2,936
固定負債合計	24,402	20,001
負債合計	290,984	313,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000,000	5,070,385
資本剰余金	1,076,598	1,146,983
利益剰余金	△2,400,933	△4,657,687
自己株式	△525	△525
株主資本合計	3,675,138	1,559,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,833	△4,482
その他の包括利益累計額合計	△5,833	△4,482
新株予約権	—	4,510
純資産合計	3,669,305	1,559,182
負債純資産合計	3,960,289	1,872,241

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	2,780,189	2,108,933
売上原価	1,521,034	1,256,545
売上総利益	1,259,154	852,387
販売費及び一般管理費	2,016,001	1,529,869
営業損失(△)	△756,846	△677,482
営業外収益		
受取利息	878	711
受取配当金	1,838	66
受取家賃	9,504	4,860
為替差益	—	9,731
債務戻入益	15,448	—
受取手数料	—	200
雑収入	2,532	1,191
営業外収益合計	30,202	16,760
営業外費用		
支払利息	95	2,315
支払保証料	130	130
為替差損	61,097	—
貸倒引当金繰入額	331,658	28,155
控除対象外消費税	—	3,950
雑損失	8,141	2,421
持分法による投資損失	1,200	—
営業外費用合計	402,323	36,973
経常損失(△)	△1,128,967	△697,695
特別利益		
関係会社株式売却益	—	2,515
賞与引当金戻入額	1,351	—
受取保険金	100,078	—
その他	8,674	—
特別利益合計	110,104	2,515
特別損失		
減損損失	146,824	1,491,582
商品廃棄損	29,627	—
訴訟和解金	12,000	—
株主名簿引継手数料	25,948	—
委託商品回収不能損	154,866	—
その他	5,554	59,637
特別損失合計	374,820	1,551,220
税金等調整前当期純損失(△)	△1,393,683	△2,246,399
法人税、住民税及び事業税	3,619	9,231

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)
過年度法人税等	△359	—
法人税等調整額	24,230	1,123
法人税等合計	27,490	10,354
少数株主損益調整前当期純損失(△)	△1,421,174	△2,256,754
当期純損失(△)	△1,421,174	△2,256,754

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前当期純損失(△)	△1,421,174	△2,256,754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,776	1,350
その他の包括利益合計	△3,776	1,350
包括利益	△1,424,950	△2,255,403
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,424,950	△2,255,403
少数株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	5,461,500	5,000,000
当期変動額		
新株の発行(新株予約権の行使)	—	70,385
減資	△461,500	—
当期変動額合計	△461,500	70,385
当期末残高	5,000,000	5,070,385
資本剰余金		
当期首残高	5,218,220	1,076,598
当期変動額		
新株の発行(新株予約権の行使)	—	70,385
株式交換による増加	126,000	—
減資	461,500	—
欠損填補	△4,729,122	—
当期変動額合計	△4,141,622	70,385
当期末残高	1,076,598	1,146,983
利益剰余金		
当期首残高	△5,708,882	△2,400,933
当期変動額		
欠損填補	4,729,122	—
当期純損失(△)	△1,421,174	△2,256,754
当期変動額合計	3,307,948	△2,256,754
当期末残高	△2,400,933	△4,657,687
自己株式		
当期首残高	△524	△525
当期変動額		
自己株式の取得	△1	—
当期変動額合計	△1	—
当期末残高	△525	△525
株主資本合計		
当期首残高	4,970,313	3,675,138
当期変動額		
新株の発行(新株予約権の行使)	—	140,770
株式交換による増加	126,000	—
当期純損失(△)	△1,421,174	△2,256,754
自己株式の取得	△1	—
当期変動額合計	△1,295,174	△2,115,984
当期末残高	3,675,138	1,559,154

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金		
当期首残高	△2,057	△5,833
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,776	1,350
当期変動額合計	△3,776	1,350
当期末残高	△5,833	△4,482
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△2,057	△5,833
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,776	1,350
当期変動額合計	△3,776	1,350
当期末残高	△5,833	△4,482
新株予約権		
当期首残高	—	—
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	4,510
当期変動額合計	—	4,510
当期末残高	—	4,510
純資産合計		
当期首残高	4,968,256	3,669,305
当期変動額		
新株の発行(新株予約権の行使)	—	140,770
株式交換による増加	126,000	—
当期純損失(△)	△1,421,174	△2,256,754
自己株式の取得	△1	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,776	5,860
当期変動額合計	△1,298,950	△2,110,123
当期末残高	3,669,305	1,559,182

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△1,393,683	△2,246,399
減価償却費	19,358	11,263
無形固定資産償却費	14	9
差入保証金償却額	—	4,466
減損損失	146,824	1,491,582
のれん償却額	163,669	156,386
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	360,715	△93,481
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△111	△1,356
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	422	△1,598
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	26,404
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△2,515
固定資産売却損益 (△は益)	△2,705	29,655
固定資産除却損	—	447
その他の特別損益 (△は益)	△952	—
受取利息及び受取配当金	△2,716	△778
支払利息	95	2,315
為替差損益 (△は益)	97	13
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	59,004	2,862
営業出資金の増減額 (△は増加)	△20,000	—
売上債権の増減額 (△は増加)	58,223	86,030
たな卸資産の増減額 (△は増加)	326,219	167,008
仕入債務の増減額 (△は減少)	△33,631	3,718
未収入金の増減額 (△は増加)	20,095	1,900
その他の資産の増減額 (△は増加)	5,060	△4,822
未払金の増減額 (△は減少)	636	3,347
その他の負債の増減額 (△は減少)	△18,459	311
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	946	98,210
持分法による投資損益 (△は益)	1,200	—
小計	△309,675	△265,018
利息及び配当金の受取額	2,262	390
利息の支払額	△95	△1,837
法人税等の支払額	△30,598	8,032
営業活動によるキャッシュ・フロー	△338,106	△258,432

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,238	△17,140
有形固定資産の売却による収入	4,859	73,654
関係会社株式の売却による収入	—	2,515
貸付けによる支出	△42,810	△17,619
貸付金の回収による収入	22,230	21,630
敷金及び保証金の差入による支出	△700	△10,364
敷金及び保証金の回収による収入	3,781	1,920
その他の支出	△14,724	△9,766
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,914	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,516	44,830
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の発行による収入	—	5,280
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	140,000
借入れによる収入	5,374	183,560
借入金の返済による支出	△6,934	△173,482
自己株式の取得による支出	△1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,561	155,357
現金及び現金同等物に係る換算差額	△97	△13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△375,282	△58,257
現金及び現金同等物の期首残高	540,378	165,096
現金及び現金同等物の期末残高	165,096	106,838



(5) 継続企業の前提に関する注記

当社グループは、平成22年9月期に△648百万円及び前連結会計年度である平成23年9月期に△756百万円、また、当連結会計年度においても△677百万円と連続して営業損失を計上しており、さらに、前連結会計年度である平成23年9月期に△338百万円、当連結会計年度に△258百万円と営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなっております。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、資金調達計画に基づく営業資金の確保や新規事業開拓等の活動資金確保の他、WEB情報事業の拡大及びM&Aや事業譲受等の事業拡大・強化計画により売上高と利益率の向上を図っております。

具体的な施策としましては、平成23年12月22日開催の第32期定時株主総会において承認決議されました新株予約権の発行に基づき、当該新株予約権者の権利行使に伴う新株発行増資による多額の資金調達の実行、また、新たな販売手法や顧客層の獲得による宝飾品事業の回復安定化、WEB情報事業の新規情報配信コンテンツの立ち上げやWEB広告の拡大による新たな顧客層の獲得と販路の拡大、さらに、今後想定しております収益性を重視したM&A等による事業拡大及びWEB情報事業や流通サービス関連事業における新規事業の開拓により、売上高及び利益の拡大を見込んでおります。

しかし、上記の諸策のうち、新株予約権の権利行使に伴う新株発行増資による多額の資金調達については、平成23年12月29日及び平成24年6月15日において、新株予約権発行総数480個のうち、一部の権利行使(権利行使数：70個、発行株式数：7百万株、払込金額：140百万円)が実行されたものの、残りの当該新株予約権の権利行使に関しては、現時点において行使時期及び行使額は新株予約権者の判断に依存しております。また、売上高及び利益の拡大は外部要因に依存する部分が大きく、継続企業の前提に関する重要な不確実性が存在するものと認められます。

なお、連結財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、このような重要な不確実性の影響を連結財務諸表には反映しておりません。

(6) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(7) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループは、複数の事業を行っており、当該事業により包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社及び当社グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「宝飾品事業」、「投資事業」、「WEB情報事業」及び「流通サービス関連事業」並びに「リサイクル事業」の5事業を報告セグメントとしております。

「宝飾品事業」は、主に、正規高級輸入時計の販売(卸売及び小売)及びリセール商品取扱等であります。

(正規品)

当社子会社である㈱ドゥーズが正規取扱店となっている海外高級腕時計を国内において小売及び卸売販売をしております。

(リセール)

当社子会社である㈱アメイジングバリューが国内外市場に対して宝飾品、特に高級腕時計を中心に販売を行っております。国内外・リセール・オークションをキーワードに販売しております。

「投資事業」は、法人向内容にて安全かつ確実なる投資案件に対し、出資を行っております。

「WEB情報事業」は、結婚情報サイト、競馬情報サイト、WEB広告、WEB通販等を中心に営業活動を行っております。

「流通サービス関連事業」は、軽飲食サービスへのコンサルティング業務、業務受託形態の事業展開を行っております。

「リサイクル事業」は、金、プラチナを中心としたリサイクルブランド「黄金市場」の運営、フランチャイズ展開を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメント利益又は損失(△)は、営業利益又は損失(△)ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は仕入原価に対し、社内規定における一定の内部利益率を賦課した内部振替価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自平成22年10月1日 至平成23年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	宝飾品事業	投資事業	WEB情報事業	流通サービス 関連事業	リサイクル 事業	
売上高						
外部顧客への 売上高	686,731	14,180	1,665,483	376,498	37,295	2,780,189
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	17,258	32,999	10,734	—	—	60,992
計	703,989	47,180	1,676,217	376,498	37,295	2,841,181
セグメント利益 又は損失(△)	△179,166	△276,609	△55,265	△29,987	△27,272	△568,301
セグメント資産	678,784	6,533,007	3,758,723	35,015	10,183	11,015,714
その他の項目						
減価償却費	—	1,024	21,548	—	46	22,619
のれん償却	—	—	3,802	—	—	3,802
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	1,049	5,770	2,475	1,172	10,572	21,039

当連結会計年度(自平成23年10月1日 至平成24年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	宝飾品事業	投資事業	WEB情報事業	流通サービス 関連事業	リサイクル 事業	
売上高						
外部顧客への 売上高	818,259	382	1,137,198	150,780	2,311	2,108,933
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	16,557	9,550	6,132	535	—	32,774
計	834,816	9,932	1,143,330	151,316	2,311	2,141,707
セグメント利益 又は損失(△)	△135,518	△255,370	△118,235	1,802	△20,216	△527,538
セグメント資産	500,581	3,703,927	3,609,116	46,756	7,840	7,868,222
その他の項目						
減価償却費	58	691	10,026	781	81	11,638
のれん償却	—	—	2,905	—	—	2,905
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	280	147	27,702	—	—	28,130

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,841,181	2,141,707
セグメント間取引消去	△60,992	△32,774
連結財務諸表の売上高	2,780,189	2,108,933

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	△568,301	△527,538
セグメント間取引消去	△5,265	1,030
のれん償却額	△159,866	△153,480
棚卸資産の調整額	△138	241
貸倒引当金の調整額	△24,760	1,889
減価償却費の調整額	△540	375
ソフトウェアの調整額	2,027	—
連結財務諸表の営業損失	△756,846	△677,482

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	11,015,714	7,868,222
セグメント間取引による 債権等の相殺消去	△3,824,419	△3,755,799
のれんの調整額	1,611,548	—
棚卸資産の調整額	△323	△82
貸倒引当金の調整額	184,744	216,089
ソフトウェアの調整額	△1,784	—
その他の調整	△5,025,189	△2,456,188
連結財務諸表の資産	3,960,289	1,872,241

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	22,619	11,638	△3,261	△375	19,358	11,263
のれんの償却額	3,802	2,905	159,866	153,480	163,669	156,386
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	21,039	28,130	△1,878	—	19,161	28,130

b. 関連情報

前連結会計年度(自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	宝飾品事業	投資事業	WEB情報事業	流通サービス 関連事業	リサイクル 事業	合計
外部顧客への 売上高	686,731	14,180	1,665,483	376,498	37,295	2,780,189

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ベルモアカフェ	376,068	流通サービス関連事業

当連結会計年度(自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	宝飾品事業	投資事業	WEB情報事業	流通サービス 関連事業	リサイクル 事業	合計
外部顧客への 売上高	818,259	382	1,137,198	150,780	2,311	2,108,933

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)

(単位:千円)

	宝飾品事業	投資事業	WEB情報事業	流通サービス 関連事業	リサイクル事 業	全社・消去	合計
減損損失	894	1,864	35,504	—	—	108,561	146,824

当連結会計年度(自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)

(単位:千円)

	宝飾品事業	投資事業	WEB情報事業	流通サービス 関連事業	リサイクル事 業	全社・消去	合計
減損損失	280	147	19,878	2,692	10,516	1,458,067	1,491,582

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)

(単位:千円)

	宝飾品事業	投資事業	WEB情報事業	流通サービス 関連事業	リサイクル事 業	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	3,802	—	—	159,866	163,669
当期末残高	—	—	32,887	—	—	1,611,548	1,644,435

当連結会計年度(自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)

(単位:千円)

	宝飾品事業	投資事業	WEB情報事業	流通サービス 関連事業	リサイクル事 業	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	2,905	—	—	153,480	156,386
当期末残高	—	—	34,982	—	—	—	34,982

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度(自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(追加情報)

当連結会計年度より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

当連結会計年度(自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)		当連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	
1株当たり純資産額	74.93円	1株当たり純資産額	27.78円
1株当たり当期純損失金額	△29.44円	1株当たり当期純損失金額	△41.95円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—
<p>なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。</p> <p>当社は平成23年2月28日付で株式10株を1株にする株式併合を行っております。</p> <p>なお、当該株式併合が前連結会計年度の開始の日に行われたと仮定した場合における前連結会計年度における1株当たり情報については、以下のとおりとなります。</p> <p>1株当たり純資産額 110.98円 1株当たり当期純損失金額 △19.96円 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 —</p>		<p>なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額につきましては、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。</p>	

(注) 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)
1株当たり当期純損失金額		
当期純損失 (千円)	△1,421,174	△2,256,754
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失 (千円)	△1,421,174	△2,256,754
期中平均株式数 (千株)	48,267	53,800
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	平成16年12月22日定時株主総会決議による発行新株予約権(10,000個)	平成16年12月22日定時株主総会決議による発行新株予約権(10,000個)  平成23年12月22日定時株主総会決議による第2回新株予約権(410個、券面総額4,510千円)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。